

三年度末で廃止されることから、病院等とも連携を図りながら、入院患者の相談体制を構築されたい。

② 一般廃棄物最終処分場の整備計画については、処理形態を含めて検討されたい。

③ 甌島地域住民が島内で医療を受けられるよう、体制の充実を図られたい。

建設水道委員会

委員長 小村 亮一

六月二十五日開催

(一) 本委員会の所管事項に係るすべての関係課・室の事務について、所管事務調査を行った。

① 上水道事業に係る取水口の一元化については、経費削減の観点から早急に進められたい。

② 入来温泉センター施設の整備については、早期に整備計画を示すよう努められたい。

③ 温泉施設の管理運営については、観光振興を図る観点から、施設の見直しを含め、鋭意努力されたい。

④ 温泉施設に係る指定管理者による管理の在り方について、十分に検証されたい。

⑤ 水道事業において、地域毎の給水条件が平等となるよう対応されたい。

⑥ 水道局の集約化によって事故への対応を懸念していたが、順調に機能しており、更に職員の努力を期待したい。

⑦ 水道工事により、道路が陥没することがないように、関係課と連携し対処されたい。

⑧ 公共下水道事業は、住民への説明を丁寧に行い、更に加入率の向上を図られたい。

⑨ 樋脇地域の活性化を図るため、将来的には丸山自然公園に人工芝サッカー場が二面整備されるよう、検討されたい。

⑩ 川内中央中学校生の通学路になっている市道平佐皿山線の登下校時の安全を確保するためにも、市道永利天辰線の早期開通に向けて取り組まれたい。

総務文教委員会

委員長 大田黒 博

六月二十五日開催

(一) 薩摩川内市立幼稚園条例の一部を改正する条例の制定について

次世代の育成支援等にあつては、教育委員会だけの問題として捉えるのではなく、市全体の政策として抜本的に取り組まれたい。

陳情第八号 薩摩川内市入札制

度に関する陳情書

工事の発注者である本市と、受注者である施工業者との信頼関係が大切であり、災害時の協力体制やボランティアへの協力など、連携を損なうことのないよう留意されたい。

各特別委員会報告

各特別委員会は、次の項目について審査を行った。

原子力発電所対策調査特別委員会

委員長 上野 一誠

四月九日開催

(一) 川内原子力発電所一号機・二号機の運転状況について

当局から、一号機は昨年八月八日に第十八回定期検査を終了し、二号機は同年十月二十六日に第十七回定期検査を終了し、それぞれ通常運転に復帰していること、また、気体・液体廃棄物の放出量は年間放出管理目標値を大きく下回り、本年二月末現在の固体廃棄物の貯蔵量は一万三千八百四十本(貯蔵容量の約八一%)であること

と及び使用済燃料の保管量は一千五百八十九体(貯蔵容量の約六七%)であることの報告を受けた。

(二) 川内原子力発電所に関連する諸問題について

当局から、本年二月末現在の環境調査の進捗状況として、総合進捗率は八九・七%、地質調査については敷地近傍地質調査ボーリングの追加ボーリング調査を本年三月二十一日に完了し、進捗率九一・四%になったこと、気象調査については平成十八年九月二十九日に終了し、進捗率一〇〇%、環境アセスについては現況調査を昨年十一月十四日に終了し、そのとりまとめ中であり、進捗率七八・七%であること及び地元発注・雇用の状況並びに川内原子力発電所三号機増設計画に係る環境影響評価の現況調査のうち土壌調査の状況について報告・説明を受け、その後、地元発注・雇用の状況、雇用に関する調査、土壌汚染の原因及び処理方法並びに原子炉設置許可申請に関する情報について質疑があり、雇用に関する調査については、独自調査を含め具体的な調査を行いたい旨の答弁があった。

(三) 原子力発電所の検査制度の見直しについて

当局から、昨年、国が定期検査の間隔を、現行の十三ヵ月から十